

# History

沼田には昔から今流に言う国際交流の大貢献者がたくさんいた。未だ鎖国してた江戸時代、日本の沖合で難破船を救助して江戸湾に入ったアメリカの捕鯨船マンハッタン号の船員たちに、国禁を顧みず、礼を盡くして対応し、漁夫たちの命を救った浦賀奉業に感心した。船員たちが帰国後「ニッポンにもジェントルマンの役人がある」と報告し、アメリカ人など諸外国の人びとに大いにニッポン評価を高めたが、その浦賀奉行が沼田藩ゆかりの土岐頼昌だったこと。また未だ帝政オスマントルコと呼ばれていた当時、トルコ軍艦エルトゥール号が和歌山県串本沖で遭難した際、いち早く全国から義捐金を募り、自らトルコ政府に届けた上、未だ国交のなかった同国に留り、「民間大使」として日本文

化を紹介したり貿易に携わるなど、両国の橋渡しの大役を果たした人が、これまた沼田藩ゆかりの山田寅次郎だったこと。

更に明治に入り、世界への窓となった横浜で生糸貿易を起し、国際交流の先駆者として活躍した戸鹿野町の星野家の人びととその子孫で世界女性会議に日本で初めて参加し、津田塾初代学長になった本市名誉市民でもある星野あい氏、アフリカのナイロビで日本語学校を創立した星野芳樹氏、更に戦後アメリカの最大の理解者として初代国家公安委員となった元沼田町長生方誠氏などなど、まことに多士済々である。

こうした先賢の遺伝子が脈々と今につながっている。

## 沼田市国際交流協会設立までの経緯

当時交流するなら地理的条件からアジア圏、あるいは経済的側面やコミュニケーション効果ならアメリカを中心とした英語圏などなど、さまざまな意見があったが、ヨーロッパ文化圏への憧れは常に根強いものがあった。

- 1987 4月 日本ロマンチック街道協会設立
- 1988 11月 日本ロマンチック街道協会とドイツロマンチック街道協会とが国際姉妹街道締結
- 1989 ロマンチック街道青年連絡協議会設立  
国際交流クラブ「グラブトン※」設立 ※グラブトンとはGlobal Tone Numataの略語
- 1990 ステッカーラリー開始
- 1992 沼田商工会議所とアウグスブルグ・シュヴァーベン商工会議所とが、友好商工会議所締結  
アウグスブルグ大聖堂少年合唱団来沼
- 1993 フェッセン市よりフェッセナーハーモニー楽団来沼
- 1995 9月 沼田市とフェッセン市とが姉妹都市締結  
締結記念としてフェッセン市寄贈ポダイジュを城堀川緑地に植樹  
ハワイ・カメハメハスクール交流会開始
- 1998 オリンピック冬季長野大会出場、ドイツカーリング選手団(全員がフェッセン市出身)来沼  
国際姉妹都市小中学生絵画交流作品展開始  
第49回全国植樹祭にフェッセン市長、アルプホルン奏者等多数来沼参加
- 1999 沼田市国際交流協会設立



ドイツロマンチック街道協会の皆さん



アウグスブルグ大聖堂少年合唱団



姉妹都市締結